

全国精神保健福祉会連合会平成29年度事業計画

はじめに

精神障害を持っていても、安心して地域生活を送ることができるように、家族の立場から障壁の実情を伝え、偏見や差別に対しては具体的に応えていくことが大切です。

昨年の相模原事件は、人格ある命を否定する著しい人権侵害と生命の抹殺をするという、いかなることがあっても許すことができません。しかし、再発防止策を論議していた厚生労働省の検討会が報告書では、措置入院とその退院後のあり方に偏重しており、犯行に至る背景など事件性についての検証が不十分です。報告書によって精神疾患ゆえに起きた事件との印象を世間に広く発信してしまうことに強い危機感をもっています。事件を口実とする措置入院の見直しであれば、予防拘禁的対処にならざるを得ず、間違っています。同じ見直すならば、人権と人生に重大な影響を与える強制入院の在り方そのものについて問うべきです。

私たちみんなねっとには、精神障がい者をとりまく諸政策や社会の空気がマイナスの方向に向かわないように積極的な活動が求められています。そのためには、障害者権利条約の視点と国際的な視野をもち情報集約と発信に努めています。

1 本事業計画の趣旨

- ・精神保健医療福祉政策の検討段階で、家族支援の視点が取り上げられはじめている。当会の役割は重要性を増しており、政策・施策の充実を求める。
- ・精神障がい者と家族の願い実現のために人権侵害と差別・選別の風土風潮を無くし、精神障害福祉活動の拠点となる。
- ・精神障害者家族を支え、孤立無援にさせないための取り組み、組織創りを図り、社会に働きかける。

【平成29年度重点課題】

- ・交通運賃割引制度実現国会請願署名提出
- ・精神障害者障害年金の実態広報と要望
- ・医療費助成制度実現の支援
- ・全国実態調査(家族支援等の方策に関する調査)
- ・第4次障害者基本計画等への政策的検討・提起
- ・賛助会員拡大強化(情報発信の強化)
- ・社会啓発・広報事業の充実(教育推進、みんなねっと誌の刷新、SNS等の活用)
- ・多様な立場の家族との連携とつながる活動の展開
- ・大会・ブロック研修会等のあり方検討
- ・都道府県連合会の活性化(訪問と実情把握)

2 基本構想(ビジョン)

- 1)「法人の安定に向けた取り組みの推進」～安定した活動を維持するために～
- 2)「家族本人の願い・思いを実現するとりくみ」～精神保健福祉の向上のために～
- 3)「社会啓発と広報活動の充実」～みんなねっとをメジャーにするために～

1)「法人運営の安定に向けた取り組みの推進」～安定した活動を維持するために～

- ①法人の持続運営に即した理事会運営と経営の健全化
 - ・理事の総意と総意を結集し、組織運営を裏付ける経営責任を負う役割分担をする
 - ・会費収支の健全化と書籍出版などによる自主財源の造成をすすめる
 - ・賛助会員の拡大
 - ・子ども、配偶者、兄弟など多様な家族の立場と連帶する
- ②法人の政策・事業・財政戦略を提起・調整できる事務局
 - ・国際性のある幅広い見識と柔軟な集団的事務能力を高める
 - ・情報処理能力を担うために、可能な判断材料を情報収集する
- ③法人事業の安定展開を見据えた助成事業の推進
 - ・助成事業の効果的な公益事業戦略の強化(都道府県レベルでの具体化など)
- ④各都道府県連合会の活性化
 - ・各ブロック会議(都道府県連合会)への訪問と実情の把握(三役・事務局長)
 - ・ブロック研修会への参加

2)「家族本人の願い・思いにこたえるとりくみ」～精神保健福祉の向上のために～

- ①要求実現に向けたとりくみ
 - ・障害者政策への要望反映
 - ・関係当局開催の会議・審議会への参加協力及び情報発信と集約
 - ・精神障害者への公共交通運賃の割引制度の実現(請願署名、事業者申入など)
 - ・精神障害者にも重度障害者医療費助成制度を適用する
 - ・年金更新見直し時の不支給・降級を防ぎ、生活できる年金額を求める
- ②調査事業
 - ・精神障がい者の社会参加をすすめるための実態調査:【日本財団助成】
- ③ピアサポート事業(相談支援事業から家族会活動の育成強化へ)
 - ・地域家族会による学習会の実施:【日本財団助成】
 - ・ピアソポーターの養成:【日本財団助成】
 - ・家族学習会のアドバイザー、担当者の養成:【JKA補助事業】
- ④研修事業
 - ・みんなねっとフォーラム:【日本財団助成】
 - ・ブロック研修会
 - ・みんなねっと独自の学習会(年金門など)開催の検討

3)「社会啓発と広報活動の充実」～みんなねっとをメジャーにする～

①広報啓発活動

- ・みんなねっと誌の刷新を視野に入れた再編検討
- ・メルマガ・ホームページの整備(リニューアル)
- ・SNS(social networking service)などの活用による新たな広報・広告の発信
- ・ブックレットの発行(みんなねっと連載などから)
- ・ユニバーサルデザイン2020行動計画(H29/2/20閣議決定)に結び付く教育など啓発活動の推進

②他団体等との連携

- ・関係団体にとどまらず、マスコミを含めたあらゆる媒体を活用し、当会の事業に則した取り組みには関与していく
- ・日本障害者フォーラム(JDF)をはじめ関係団体との連携やアジア太平洋障害者センター(APCD:AsiaPacific Development Center on Disability)など国際的な団体とも連携し、精神保健福祉医療の向上に寄与する

3 組織と事業内容

1)機関組織

- ① 総会 定例年1回(6月1日)
- ② 理事会 定例年3回(6月10月3月)
- ③ 三役会 定例年6回(偶数月第1水曜日開催) *事務局職員会議 月一回

2)各委員会等

委員会名等	構成員(いづれも2016年度実績)
JRなど交通運賃割引 推進プロジェクトチーム	座長:奥田和男、プロジェクト事務局長:堀場洋二 近畿ブロック役員
政策委員会	委員長:本條義和、事務担当者:野村忠良 木全義治、松澤勝、堤年春、青木聖久、羽藤邦利、池原毅和、白石弘巳、長谷川利夫、寺谷隆子、小幡恭弘
月刊みんなねっと編集委員会	委員長:野村忠良、谷安正、飯塚壽美、 みんなねっと事務局員
家族学習会企画 プロジェクト委員会	委員長:岡田久実子、飯塚壽美、佐藤美樹子、川辺慶子、 貫井信夫、守屋栄二、米倉令二、綾部小百合、天川智子、蔭山正子、横山恵子、大島巖、桶谷肇、平間安喜子、柏木彰、 倉沢政江、二宮史織、野村忠良、小幡恭弘、松本まゆみ 協力委員:小林清香、中村由嘉子、伊藤順一郎、高森信子

みんなねっとフォーラム プロジェクトチーム	伊藤千尋、大塚淳子、金川洋輔、岡田久実子、野村忠良、山本哲史
調査委員会	2017年度新規(構成員未確定)

3) 行政当局・公共団体等の役割受任

当会の目的を達成するためにも、行政当局への意見表明をはじめ政策提言などを行い、関係機関・団体への協力を推進する(下記は現行受任しているものを示す)

- ① 内閣府障害者政策委員会
- ② 厚生労働省社会保障審議会(障害者部会)
- ③ 厚生労働省これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会
- ④ 厚生労働省労働政策審議会障害者雇用分科会
- ⑤ 移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準等検討委員会
- ⑥ 地域福祉権利擁護に関する検討委員会(全国社会福祉協議会地域福祉部)
- ⑦ 高齢障害者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会
- ⑧ 関東管内バリアフリーネットワーク会議
- ⑨ 高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建設設計のあり方に関する検討委員会
- ⑩ 心のバリアフリーに向けた汎用性のある研修プログラム検討会
- ⑪ 全国障害者技能競技大会(アビリンピック)競技委員会
- ⑫ ユニバーサルデザイン2020関係府省等連絡会議
- ⑬ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構評議員(H27/4~H29/3)
- ⑭ 独立行政法人労働政策研究・研修機構労働大学校障害者雇用専門研修(前期)講師
- ⑮ 国際障害者交流センター運営協議会(H27/4~H29/3)ビッグ・アイ共働機構
(①飯塚理事,②~⑤本條理事長,⑥木全副理事長,⑦野村理事,⑧~⑫小幡,⑬⑭堤理事,⑮倉町理事)
- ⑯ 日本障害者フォーラム(JDF):代表者会(本條理事長)、監査(松澤副理事長)、幹事会・条約推進委員会(小幡事務局長)

4) 法人事業(当会定款に定める事業)

*各取り組みは複数の事業の正確を持つ正確もあるが便宜的に区分している

- ① 精神保健福祉の向上に資するための社会啓発・広報事業(P3 参照)
 - ・月刊みんなねっと、メルマガ発行など
 - ・教育カリキュラム化への働きかけ

② 精神障がい者とその家族に対する相談支援事業

- ・電話相談事業 毎週水曜日 10~15時
- ・家族ピアソーター(相談員)養成【日本財団助成】
- ・精神障がい者家族間の支援者養成(担当者・アドバイザー)【JKA 補助】
- ・家族学習セミナー【JKA 補助】

③ 精神障がい者の社会参加を推進するための調査・研究事業

- ・交通運賃割引制度のとりくみ
- ・全国実態調査【日本財団助成】

④ 家族会活動の育成強化及び当事者活動の支援を図る事業

- ・ブロック研修会(主催各都道府県連合会 共催全国精神保健福祉会連合会)
 - i 北海道・東北、ii 北信越、iii 関東、iv 甲州・東海、v 近畿、vi 四国、vii 九州・沖縄、viii 中国(兼全国大会)
- ・家族学習会【日本財団助成】

⑤ 関係機関・団体との連絡調整に関する事業

- ・行政当局・公共団体等の役割受任(P4 参照)
- ・みんなねっとフォーラム【日本財団助成】

⑥ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

- ・要求実現に向けたとりくみ(P2 参照)
- ・全国大会「第10回全国精神保健福祉家族大会(岡山)」(兼ブロック研修会)

組織図

